前略。同封の一文などお読み頂ければ幸いです。

「世事に煩わされず、災難に遭うときも死も素直に受け入れる」とは晩年の良寛の心境です。M氏も同感。M氏とは私（大星）です。原発稼働・TPP・米国と連携した軍事同盟。原発利権の頃、理系の政大学教授が毎日新聞（夕刊）に発表しておりました。怖るべき教育が陸・海・空・ながざく市街や町村、山水を染めておりました。災害・天候・風雨によって異なります。これがものその実感ねびしとして語るまぶがありました。

脱（反）原発三十余年。力の無さをしみじみ感じさせられます。

見えぬ若年の頃より、才（「ある歌人の脱原発」栄光社）にもしるしましたが、体質的にも「核」への反発は根強くありました。友人・仲間百余名との「明日の自然を考える」会の活動は、当時のゴルフ場ブーム・森林伐採・企業廃棄物・その他数え切れぬ数の難問をクリアーして来ました。その間ではわれ〳〵の区域はタブーの地だったかと寧せられます。しかし、脱原発だけは他グループとの共闘？でも不可能でした。M町の原発誘致反対、K市の原発トラブル野時停止にささやかなエールを支援と、これもささやかな勝利をかち取る幸いを得たに過ぎません。なぜでしょう？「世界」が原発を求めていたのです。その意志を思げておりません。現在も——。

日本とロシア・ナガサキそして今回の責任ある重大な悲しむべき体験をしてしまいました。

世界に発信すべき責務を担っている筈です。事実、原子力に関するすばらしい書籍、

発表が山のようにテレビ・マスコミ・新聞・出版と彩りました。有難いことです。にも拘わ

らず再稼働、十年二十年後の再生エネルギー・代替自然エネです。世界からーが最優先、

スタート台かも知れません。IT産業その他の金融家も多い筈です。世界への発信をぜひ応

援して頂きたいと願うばかりです。

先日、新聞の投稿欄に「もし欅石が原発に怒ったら」これを杞憂というべきか否かとありました。火山国、

地震国であり、網の目のように原発はありません。テロ・小戦の手でも神宮は想像を絶します。再稼

働でも汚染水問題様です。他国と汚染水の処置が今後の日本でどのようにか？遠林ひめです。金のシ

ノーベル物理学賞の益川敏英氏の提言の如く国家プロジェクト・国を挙げての補助金のシ

ステムで安本外スンナリと解決する。日本人の優秀な頭脳と熱意に期待したい所です。そ

して自然エネルギーへと。すでにマスコミで取り沙汰されている以外にも優れた代替は沢山あ

ります。「ナイ」のではなく「やらナイ」だけです。その為にも世界の意志を変更していく必要

があります。先ず核から離れゼロからのスタートとなりましょうか。

TPPも課題となりそうな日本です。農業問題だけに限るなら、量より質に切り替えれば

むしろ日本人の好み、世界の信頼を得、輸出国（又転じる可能性をも？農業・化学肥料

からの離脱と、なりましょうか。遺伝子・一年限りの種子と飾け優先の農業分野とこれも

国・世界の問題ですね。難題山積の日本・各国々のテーマの多さですが、先ず脱原発

発・一基の稼働も命取り。これが日本国、われ〳〵の今の問題へと深く拘わる思い、これを

綴ってみました。実際はワープロ活字できれいにおき紙、趣旨は述べればよかったのです

が、能の無い小生、手書き・鉛筆・コピーにて失礼致します。

御清福ばかり祈ります。良寛ではないが「死ぬときは死ぬがよろしかるべし」と

は、現今は、身に沈み入る現実感覚でもあります。環境保全のしがない理動の深も

悲壮とは程遠い、遊び・楽しみで終始しましたような悲喜こもごもの未来と希望、

天運に任せるスタイルおおらかさは失いたくはない思いはどこやる保持して生きたいものです。

厳しい冬が過ぎ、やがて春がやって参りました。人間の当用途を信じたいものです。また

日本の将来を明るい展望を恒間見たいものです。賢明な御知恵・アドバイスを

拝借したいものです。　拝具

海外・劇部も考えていかなければ。

いかが過ぎ——。余程多くの助力者、方法だけが大変なことでも思ぶ

百数十へとお手紙差し上げ、残生少ない身で

お祈りです——。

※エリクサーやまほろばの生き方に関心を寄せていただいている、医学博士であり歌人でもある大星光史先生より、１月に続きお手紙をいただきました。歌人として自然と共に生きる姿勢を貫き、以前から原発に異を唱え続けてきた先生の、魂からのメッセージの様に感じました。裏面の記事と共にご紹介させていただきます。

大星光史：新潟県生まれ。東北大学卒、富山医科薬科大学退職、医学博士、日本医史学会、現代俳句協会、日本歌人クラブ会員、日本文芸研究会役員も務め、「大伴旅人」（岩波書店）「良寛と会津八一」（角川書店）「日本文学と老荘神仙思想の研究」（桜楓社）、「古代日本の生命倫理と疾病観」（思文閣）他　著作多数。